

令和5年度第1回鴨川市健康づくり推進協議会 要録

- 1 日時 令和5年8月30日（水）午後2時30分から午後4時10分まで
- 2 場所 鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）2階 研修室
- 3 出席者（敬称略）

（1）委員

医療法人鉄蕉会亀田総合病院 リハビリテーション事業管理部長 村永信吾
医療法人明星会東条メンタルホスピタル 院長 金井重人
のぞみ歯科医院 院長 川崎 淳
鴨川市食生活改善協議会 会長 宮本利子
鴨川オーシャンスポーツクラブ 会長 唐鎌武則
医療法人鉄蕉会亀田総合病院 看護部長 渡邊八重子
鴨川市内小中学校長会 会長 岡野美智代（安房東中学校長）

（2）市執行部 市長 長谷川孝夫

（3）オブザーバー 鴨川地域保健センター 次長 野澤憲子

（4）関係課職員

[市民福祉部] 市民生活課長 塚越 均、子ども支援課長 田中 忍
福祉課長 四宮俊英（欠席）
健康推進課 介護保険係長 石井和美
福祉総合相談センター 副主査 平川健司
新型コロナ対策室 保健師 田中有里

[教育委員会] 学校教育課長 関口和則

（5）事務局 市民福祉部長 鈴木克己

健康推進課 課長 角田 守、課長補佐 笠井千種
課長補佐（新型コロナ対策室長）鈴木 卓
保健予防係 係長 尾形正一郎、主査 池田貴子、主査 鎌田智佳子
主任保健師 野村浩子、主任保健師 鈴木祐美
保健師 笹子洋子、保健師 吉野礼華
主任主事 秋元真彦

4 内容（会議要旨） [進行 鈴木課長補佐]

（1）開会

- ・事務局から鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定により会議が成立となることを報告。
- ・会議に先立ち、本日の出席委員の紹介を行ない、その後、会長及び副会長の選出を実施。

会長及び副会長の選出を行なうに当たり、事務局からの選出案を提示する方法について承認された。

事務局から会長に村永信吾委員、副会長に金井重人を推薦する事務局案が提示され、各委員とも異議等無く、事務局案のとおり承認された。

(2) 市長あいさつ

8月の後半に入りまして例年ですと涼しさが増してくるところであります。このところまだまだ暑い日が続いているところでもあります。どうぞ皆様方におかれましては、お身体には十分にお気をつけいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、ご案内のとおり本市の健康づくり推進協議会を開催させていただきましたところ、委員の皆様には、大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

また、日頃より委員の皆様には、保健・福祉行政に対しまして、大変深いご理解とご協力を賜っておりますこと心から感謝申し上げます。

新たに委員となられました渡邊八重子様、岡野美智代様を始め、再任となりました委員の皆様方におかれましては、就任をご快諾いただきましたこと重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

ご承知のとおり、本年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症へ移行したことに伴いまして、感染症対策は個人そして事業者の判断に委ねられたところでございます。感染者数につきましては、全国約5,000の定点医療機関からの報告によりますと、8月14日から8月20日までいわゆる第33週では、全国で17.8人、千葉県は22.38人と3週間ぶりに増加する中で、安房地区におきましては、23.28人と2週連続で増加している状況でございます。

昨日、議会の開会前でございますので記者会見があったところではありますが、ある記者からこのような質問をいただきました。千葉県では、感染者数が20数人ということだが安房については少し多くなっているが、これについてどのような分析をするのかというようなご質問をいただきました。これにつきましては、人の賑わいのなかで、本市におきましても多くの方が本市を訪れている。そうした中で感染者も増えてきたのではなかろうかなど、こういうようなお話しをさせていただいたところでもあります。

また、そのような中で、来月の20日からオミクロン株に対応しました1価ワクチンを使用する令和5年秋の開始接種が始まる所でございます。対象は、初回接種を終了し、生後6か月以上で追加接種が可能な方で、接種を希望する方に、無料で接種することとしております。現在、接種券の発送に向け準備を進めている所でございますが、引き続き関係機関と連携を密にいたしまして円滑なワクチン接種に努めて参りたいと思っております。

さて、本市では、誰もが健康で、安心した生活が享受できるよう、健康寿命の延伸を重視しました第3期鴨川市健康福祉推進計画に基づき、健康長寿日本一の鴨川を目指し、健康づくりを推進しております。

そうした中、本市におきましては、子育て支援の一つといたしまして本年度は、4月から出産・育児等の一体的な支援といたしまして、伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届を提出しいたしました妊婦等に対しまして、妊娠1回につき5万円、出生した子ども1人につき5万円の経済的支援を行う出産・子育て応援事業を実施しております。

加えまして、総合保健福祉会館内の一部を改修し、新たに子ども・子育て支援の拠点となる施設、仮称となりますが、こども家庭センターを来年4月の設置に向けまして、準備をしているところでございます。母子保健・児童福祉の連携強化を図ると共に、地域交流スペースを確保することによりまして、親子のふれあい交流の機会の促進を、こども家庭センターの場で図って参りたいと思うところでございます。

若年期から高齢期のすべてのライフステージに応じた幅広い健康づくりの推進に努めて参りますので、委員の皆様方におかれましては、こうした本市の取り組みにご理解をいただきまして、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この後、担当の方から、令和4年度の実施状況、そして今年度の重点施策につきまして、説明させますので、委員の皆様方におかれましては、様々な見地から、忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

本日は宜しくどうぞお願い申し上げます。

(3) 議件 [議長 村永会長]

- ・議長から議事録署名人として唐鎌武則委員を指名し承諾を得る。
- ・議件1 令和4年度保健事業実施状況について [説明 尾形保健予防係長]

事務局から、資料1健康づくり推進協議会資料により説明を行い、原案のとおり承認された。説明後の質疑等に係る主な発言は次のとおり。

渡邊委員) 看護師等就学資金貸付制度の説明の中で、看護師の充足状況の説明があったが、平成30年に市内の医療施設の看護師の充足状況、ニーズの確認をした中で、令和6年度末に制度を廃止する予定となっているとのことだが、私が所属している亀田総合病院では1,200人程の看護師がいるが、そのうち50人前後は年齢的に産後休暇や育児休暇、またコロナ禍や急性期医療を担うナースの業務負担の増加によりメンタルヘルスが悪化し、休職と復帰を繰り返す職員が非常に増えてきている。そのような状況の中、毎朝のようにミーティングでは看護師不足が問題として取り上げられている。現場レベルでは、充足ではなく、未充足との認識であり、全国的に見ても千葉県は47都道府県で下から2番目の充足率である。また、安房地区も決して高い充足率では無いと認識しているので、この制度の廃止の判断が疑問に思うところがある。

尾形保健予防係長) 近年のコロナ禍という状況もあり医療機関の状況も平成30年度とは変わっていると考慮されるため、今年度に再度、市内の医療機関へ看護師等の充足状況のアンケート調査を行なった。渡邊委員のご意見にあるとおり医療機関での看護師の様々な事情、要因についてもご意見をいただいております。また亀田総合病院では看護師を充足させるため、看護師採用推進室を設置し年間を通じて採用活動を行なっている旨も回答いただいております。アンケート回答では、数字上で見ると充足していると見えるが、実質的に未充足であることの認識はしている。頂いたご意見を踏まえ、事業の在り方については、今後も継続的に検討、調

整を行なっていく。

村永会長) 資料1の45ページにある鴨川版CCRCの策定と推進について、その取組み内容などを教えていただきたい。

角田課長) 鴨川版CCRC構想については、市の企画部門において国の日本版CCRC構想を踏まえ、策定を行なった。健康推進課においては、現状では新たな取組等の動きはない状況であるが、高齢者が健康で元気に活躍し、交流できる地域づくりに寄与できるよう施策を検討していく。

村永会長) CCRCの取組みについては、三井不動産が浜荻地区に施設を建てたが、その住民とお会いする機会がある中で、せっかく都会から移住して来られた方が外に出る機会がなかなか無く、また地域の方と接する機会も無いので都内に戻ってしまうといった状況がある。デベロッパーを通して、地域の中で人が集まる、交流できる仕組みが出来ようとしつつあるので、外から入ってこられた方が住民として参加できる取組みなどがあると、CCRCを推進出来るのではないかと考え意見した。

金井副会長) 高齢者の健康づくりに関して、当院に於いて認知症疾患医療センターを運営しているなかで、この3年間のコロナ禍は、自粛生活により認知症の患者を増加させている。これまでサロンに行けていた方が、引きこもってしまい行けなくなったといった状況が実感としてある。資料の数字では、サロン活動も戻りつつあるが、やはり臨床をするなかでは、サロン活動が中止になり行き場所がないと、軽度か軽度認知障害ぐらゐの症状の軽い方の認知症が進行する。やはりサロンの重要性というのは印象として感じている。再開している数は60くらいとなっているが、今後、数は増えていくのかどうか。それともコロナ禍によってサロン活動が断ち切れてしまっているのか教えていただきたい。

野村主任保健師) 資料に計上しているサロン数は、健康推進課の保健師、管理栄養士が出向いたサロン数を計上しているもので、地域におけるサロンの活動の実態と相応しているかという点と乖離はあると考えている。令和3年度までは地域のサロン活動が自粛傾向であったが、令和4年度はサロンの状況把握や支援を行なっている社会福祉協議会との情報共有では活動は再開してきている。そういった中で、サロン活動が再開している状況は承知しているが、当課の保健師等がマンパワーの問題で地域に出向くことが出来ない状況もあり実績数は伸び悩んだという結果である。また、各サロンの世話人がコロナ禍による一旦の休止期間を経て、活動再開に向けたエネルギー不足や後継者不足を訴えている部分もある。その点は、社会福祉協議会と連携し地域のボランティアリーダーへの支援を今後大事に

しなければならぬと考えている。

金井副会長) やはりサロン活動を再開できなくなってしまうとの懸念もあったので、その点の支援をしていただければありがたいと思う。

・議件2 令和5年度保健事業実施計画について〔説明 尾形保健予防係長〕

事務局から、資料1健康づくり推進協議会資料48ページ以降により重点施策を中心に説明を行い、原案のとおり承認された。説明後の質疑等に係る主な発言は次のとおり。

村永会長) 令和5年度に於いて特定健康診査等実施計画とデータヘルス計画の策定を進めていると思うが、地域の健康づくりについて職域との関わりはどのように議論されるのか。

厚生労働省は、エイジフレンドリーシティーガイドラインを作成し、高齢者の健診に基づく転倒予防、メンタルヘルスに対するストレスチェックのフォロー等の取組みをした企業に補助金を出すことをしている。

こういった制度の啓発と、データヘルス計画などの取組みを一体的に行なうことが出来れば、企業を対象とした取組みと個人を対象にした取組みが一緒に行なえ、広がり方も大きくなるのではないかと。

角田課長) 現状では、市の事業として企業などの職域を対象とした取組みは無い状況である。今後、必要に応じてそういった取組みを展開できればと思う。なお、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業のなかで、介護保険制度と後期高齢者医療制度の各保険者と連携し事業実施を図ることとなっているが、未だ連携が希薄なところもあるので、この点も含め今後、改善を行なっていきたい。

村永会長) 事業への縦割りの関わりを横断的に繋げていこうというものになるかと思う。データヘルスの計画では、横断的な繋がりを積極的に取り組んでいただきたいと思います。

宮本委員) 食生活改善協議会は、千葉県食生活改善協議会に加盟、協力し事業を行ってきた。これまで千葉県食生活改善協議会の事務局は県健康づくり支援課であったが、県は令和2年度から事務全般を千葉県食生活改善協議会へ移行することとした。これを契機に県内では県協議会に加入しない市町村協議会が増えてきている。令和2年度は23市町村協議会が加盟し推進員は1,700名程いたが、令和5年度は15市町村で1,070名程となっている。安房管内でも館山市が5年ほど前に退会し、鋸南町が昨年退会し活動を行なっている。県協議会も全国食生活改善推進員協議会の組織に入り活動を行なっているが、連携しているが故に動きが拘束される側面もあると感じている。本市協議会では、現在、ヘルスサポーターやシニアカフェの取組みを新規に立ち上げるといった話もあるので、

地域の特色に合わせた活動をすることで市民に密着した独自の活動ができると思っている。県協議会は令和6年3月で役員改選になることから、それに合わせ県協議会から退会し、以降は地域のスポーツクラブや高齢者サロンと連携した取組みが出来るようになれば、より市民と繋がった事業が出来るのではないかと思っている。

村永会長) 県協議会から独立し事業を行なっていきたいとの意見だが、その決定はどのように進めたら良いか。

池田主査) 鴨川市の協議会の歴史は古く、婦人会の頃に端を発し昭和50年頃には栄養改善の事業を実施していたと伺っている。全国食生活推進員協議会は、国のその時々の栄養課題を踏まえた事業を、都道府県や市町村の協議会へ活動方針として示している。昭和50年代、60年代は、市町村の協議会が県協議会に加盟し活動することが当然のごとく行なわれていたが、最近10年ほどは退会をする市町村協議会が多くなってきた。退会する要因としては、食生活改善推進員の高齢化が一つ、また県協議会の加入数が減少したことにより、加入している市町村協議会の負担が増加したためと感じている。現状の本市協議会の活動が、本市の健康課題に即した活動となっているかどうか、また本市の各推進員がやりがいを持って活動できている状況となっているかという点で考慮すると退会も視野に入れて検討し、各推進員が自主的にやりがいを持って活動を行なっていける協議会になるのが良いのではないかと感じている。

村永会長) 退会を含めて検討頂き、退会するだけではなく市協議会が独自でどういう形の青写真を作って進めていくのか併せて検討して頂ければと思う。

唐鎌委員) スポーツ推進員では今年度、大人向けの体力診断テストの取組みを行なっている。また、ウェルネススポーツ鴨川では体組成計を持っており、文化体育館だけでなく、持ち運びして健康に関する事業などで測定を行なっているため、日頃の健康づくりに役立てて頂ければと思う。また、スポーツ推進員は、昔は体育指導員と呼ばれ活動していたが、昔から軽スポーツの用具を文化体育館や天津公民館脇の車庫の中で保管している。グランドゴルフなどの道具があり、使われず埋もれている状態の物もあるので、何かのイベントなどの時に使って頂くなど役立てて頂ければと思っている。

野村主任保健師) 健康推進課に於いても、介護予防事業に活用するためのレクリエーション物品を保有している。地域での高齢者サロンや老人クラブなどの介護予防活動への貸出などもしているため、貸出リストのメニューに追加し、地域の活動団体への情報提供を行なっていきたい。

村永会長) 当院に於いても、千葉県広域リハビリテーション支援センターの機能を有して

おり、地域の施設や学校でボッチャを行なうなど様々な活動をしている。物品の情報については、共有をさせて頂いて地域の方、専門職の方が使っていく機会を作らせて頂ければと思う。

村永会長) 学校健診において運動器健診をされていると思う。説明のあったメタボ健診のフォロー以外に、体力測定などの前屈や立ちしゃがみ込みについて家庭で親がチェックし、学校医が確認をするといったことがあると思うが、本市はどのような取組みとなっているのか。

関口学校教育課長) 基本的に体力、スポーツテストは毎年実施しているが、その中で柔軟性や瞬発性などを測るということを実施している。そのテスト結果に基づき、各学校で学校担任などが対応を行なっている。スポーツテストについて、千葉県は全国的に上位のグループに属していたが、コロナ禍に於いて数値が落込んでいる。同じく鴨川市も同様の結果が出ているので、今後、力を入れて対応していかなければならないと感じているが、具体的に何を取り組んでいくかについては検討課題だと思っている。

村永会長) 現在、学校教育などの現場に於いて、運動機能の健診に関する取組みを実施しているところが広がっている。高齢者は基より、子供達のこれからの健康づくりという点も非常に大事になってくると思われるので取組みをお願いしたい。

岡野委員) 生活習慣病予防健診の事後指導について、今年度に於いても更に取組みを進めていく計画となっている。昨年度、小学校に勤めた際、子供と親御さんと両方に指導をするといった事後指導の内容がとても良く、参加された親御さんからは、家庭で親から子に言っても浸透していかないことが、事後指導の専門的な方から指摘されると、子供自身が意識し行動するようになり、意識が変わってきたと親御さんから喜びの声を聞いた。令和4年度の実績が36.1%という結果だが、学校側もこの事後指導が有効であるともっと強く親御さんに伝えると共に、子供達に自分の役に立つことだということを伝えていかななくてはならないと感じている。事後指導については、引き続き勸奨を続けていただくと共に、全体指導の取組みが小学校にもあったら良いと思う。

村永会長) 産後ケアの充実といった説明があったが、出産後の女性の身体について、排尿や排泄など様々な障害が出てくることがあり、産後ケアのメニューの中にそういった産婦のケアの場があると良いと思う。隣接した市町村ではそのような活動も行なっているので、骨盤のフォローなどのケアに取り組んで行ければ、将来的に女性が高齢になった際の活動度にも影響していくと思われるので検討していただければと思う。

吉野保健師) 現在、産後ケア事業については、事業内容の再考をしており、骨盤ケアについても亀田総合病院で行なっている産後の骨盤ケアや肛門外来の資料提供や紹介を乳児健診の際に行なっている。加えて産後ケアの内容についても追加し、事業展開出来ればと考えている。

村永会長) 産後ケアを受ける方々にとって、産後ケアは社会に出るスタートの所でもあるので、適切なケアを受けることが出来れば、社会復帰をするための良いスタートになるのではないかと思うので検討をお願いしたい。

・その他

全ての議案の承認後、村永会長からその他として委員へ意見を求め、特に意見はなく終了。

村永会長) 本日は、皆さんから多くの貴重なご意見を頂き、また円滑な議事進行にご協力を頂きましてありがとうございました。事務局におかれましては、本日、皆さんから提案された意見や提言を踏まえ、市民の健康づくりに取り組んで頂きたいと思う。

(4) その他

・質疑等は特になく終了。

(5) 閉会

以上

令和5年9月29日

議事録署名人 委員 唐鎌武則